

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス のぞみ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【子どもたちにとっての居場所】 家庭や学校以外の場所で安心して過ごせる場所、心理的安全性を感じられる環境づくりを意識しています。	子ども自身が過ごし方を選択できるよう、活動への参加・不参加を含め、複数の過ごし方を用意しています。自分で選ぶ経験を積み重ねることで、安心感や自己肯定感につながる居場所づくりを行っています。	子どもの気持ちや言動を否定せず、まず受け止める関わりを職員間で共通認識としています。失敗や戸惑いも含めて受け止めることで、安心して自分を表現できる居場所となるよう心がけています。また、一人ひとりの性格を分析して対応できるように職員間での話し合いや特性に関する研修を行っています。
2	【野外活動への取り組みで様々な経験や体験】 春化秋冬、色々な場所に出かけて、友達との関わりを広げていくことや、季節ごとに空気感を体験してもらい、人生経験を豊富なものができるように意識しています。	野外活動を通じて心身の健康促進や社会性の育成を図っています。活動内容は、こどもの発達段階や特性、体調に配慮し、無理のない範囲で参加できるよう工夫しています。また、事前に活動内容やルールを分かりやすく伝え、安心して参加できる環境づくりを行っています。	定期的に、公共交通機関を利用した外出を設定して、移動時や外出先でのマナーを知る機会を多く設けていきます。また、外出先を子どもたちと一緒に決めたり、話し合う場を作って、積極的に参加できる環境作りを意識しています。
3	【社会性を身に付ける】 人との距離感やコミュニケーションの向上、自己決定や自己選択ができる環境を設定しています。また、お金の概念を視覚的に伝え、野外活動時には、実際にお金のやり取りを体験する機会を設けています。	集団活動や日常生活の中で、他者との関わりを体験できる支援を行っています。子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じて、小集団での活動を取り入れて、安心して参加出来る環境を整えています。職員が関わりモデルとなり、成功体験を積み重ねる事で、コミュニケーションのスキルを向上できる環境設定を意識しています。	更に充実を図るための取り組みとしては、職員間での支援の方針を共有して、常に肯定的な声掛けをする事により、人との関わりを安心して学べる環境づくりやトラブルも学びにつなげられる機会と考え、SSTやサイコロゲームを通じて、子どもと共に学ぶ経験を積んでいきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【保護者向けの研修などが行えていない】 ・保護者が子どもの特性理解や家庭での関わり方について学ぶ機会を十分に提供できていません。 ・事業所の専門的な取り組みについて、保護者に伝える場が不足しています。	・職員の研修実施に関する経験やノウハウが充分でなく、内容設定に課題があります。	保護者への研修を開催するとなると、研修ノウハウが必要になります。そうすると、学んで、体得してから開催になり、時期が伸びてしまうので、保護者と一緒に考える会という名目で考えて、開催していきたいと思えます。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026 年 2 月 10 日			
放課後等デイサービス のぞみ今津					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用定員については、活動スペースや動線、子ども一人ひとりが落ち着いて過ごせる広さを踏まえて設定しております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	毎月の利用者人数が決定された時点で、配置基準を満たすように職員やパートさんの人数を決定しております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	子どもたちが安心して過ごせるように活動ごとに場所や動線を明確にし、視覚的に理解しやすい配置や表示を行う事で、子どもたちが自身が発達しを持って行動できるように配慮していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	生活空間は、毎日の清掃や定期的な点検を通して、清潔で快適に過ごせる環境を維持するよう努めております。また、出勤してからは当番制で、事業所周辺のごみ拾いも行っています。	毎日の清掃に加えて、おもちゃの定期的な消毒を行っています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	クールダウンする時間や、集中して宿題などに取り組むために個室利用を認めています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	子どもたちが帰宅した後に、その日の子どもたちの様子を振り返り、個別支援計画書に合った支援が出来ていたかを職員で確認しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員で、自己評価表を確認し、業務につなげています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期的な面談を施設長が行っていますが、何か気になる事があればいつでも相談できるようにしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	事業所外部の提携会社にマネージメントの相談や研修、スキルアップの評価制度など業務改善の指導を受けています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎月、2回以上はスキルアップの研修、療育の知識を上げていくための研修を開催しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援プログラムは、職員全員で会議を重ねて、半年以上の月日を費やして作成し、公表しました。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	6か月ごとに計画書の見直しと保護者との面談を経て、計画書作成を行っております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリング会議は毎月行い、全員で子ども一人一人の成長を見極めて、最善の利益を考えて作成しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画書が新しくなった時点で、サービス提供記録の変更を行い、職員全員が計画書に目を通して確認し、計画書に沿った支援ができるようにしています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	標準化されたアセスメントツールを用いたフォーマルな評価と、日々の支援場面における行動観察や記録等によるインフォーマルなアセスメントの両面から子どもの適応行動の状況を確認しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	計画書には子ども一人ひとりの行動や状況を分析して、本人支援の中の5領域にあてはめて、支援しています。また、家族支援では子どもたちの様子を毎日の送迎時にお伝えする事や、相談があった時には一緒に支援方法を考えて行くなどを行っています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	活動プログラムは毎日、週1回ほどで回ってくる、リーダーが決めています。その内容を、子どもたちが来所してくる前に職員全員で共有しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎日、プログラムを立てる人が違うので、必然的に固定化されませんが、長期休みなどは室内ではなく、外に出かける活動をメインにして固定化されないように工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの状況と保護者のニーズを組み合わせ、個別支援が必要なお子さんには個別課題を提供しています。集団活動は毎日組み込まれているので、その日によって参加、不参加がありますが、計画、作成して支援しています。	ひとりひとりに合った適切な個別課題の提供ができるように日々、支援計画書の確認を続けて行きます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	子どもたちが来所してくる前に職員全員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	療育終了後には、その日に行われた療育内容の振り返りを行い、気付いた点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の支援に対しての記録を毎日とり、支援の改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	毎月、支援計画が更新になるお子さんのモニタリング会議を行い、今後の支援内容を見直し、確認しています。	
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	4つの基本活動を複数組み合わせる支援を行う為に、職員一同支援計画書を作成する際に話し合いを重ねています。	地域支援（地域の人の関わり）が比較的に少ないように感じているので、地域で行われるイベントなどに積極的に参加していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	工作などの制作活動をする際には、子どもたちが選択できる物を準備しています。また、参加しないプログラムがある場合は、指導員に伝えてもらう拒否する自己決定を進めています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	支援会議には、児童発達支援責任者、もしくは子どもたちと関わりが多い職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	様々な関係機関と連携をとって支援を行っております。医療機関などとの連携をとる場合は保護者を通して対処法などを伺っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校から子どもたちを引き渡してもらう時には、その日の様子を伺い、保護者に伝える連絡事項があれば、もれなくお伝えするようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	出来る時もあります。できていない事が多く、保護者から情報共有していただく事が多いです。	就学前に利用していた事業所からの聞き取りを可能な限り、おこなってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	放課後デイ、学校を卒業する際には支援会議を行って、情報共有しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	必要な場合は、地域の児童発達支援センターと連携をとり、療育の中で困りごとを解決するための、研修を受けて、スーパーバイズの意見を参考に、療育を進めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	放課後児童クラブや児童館との交流はなかなか取れませんが、地域の公園に出かけたり、事業所周辺の清掃を行う際に関わる事があります。	地域のイベントなど、参加する機会があれば、参加していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	月1回の自立支援協議会には、参加できる時に参加しています。	参加可能な時に参加していきます。
関係機関や保護者との連携	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	帰りの送迎時に、その日にあった出来事や、学校からの申し伝えがあれば、もれなくお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	定期的な面談やモニタリングの機会を活用し、家族の困りごとやニーズを把握した上で、家庭での関わり方に関する助言を行っています。また、家族が参加可能な研修・勉強会等の案内を行っています。	今後も、家族支援の一環として、ペアレント・トレーニングの視点を取り入れた助言や支援を行っていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	運営規定、支援プログラム、利用者負担額の説明は、新規ご利用の際にお伝えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	こどもの発達段階や特性に応じて、言葉・行動・表情などからこども本人の意思や希望を把握しています。保護者との面談を通じて家庭での様子や意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	放課後等デイサービス計画を保護者に提示しながら、支援内容や目標について説明を行っています。内容について十分な理解を得た上で、同意を確認し、署名等により同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	日常的な連絡や面談を通じて、家族等からの子育てに関する悩みや不安の相談に応じています。相談内容に応じて面談を実施し、家庭での関わり方について助言を行うとともに、必要な支援につなげています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7	保護者会等の集団での交流機会は実施できていませんが、個別面談や随時の相談対応を通じて、保護者への支援を行っています。また、必要に応じて保護者同士が情報を共有できる機会の在り方について検討しています。	今後、保護者会や兄弟も参加しての会が設けられるように検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情対応に関する責任者を定め、対応体制を整備しており、苦情の受付方法については、契約時等に子どもや保護者へ説明し周知しています。苦情が寄せられた際には、速やかに事実確認を行い、必要な説明や対応を実施している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	定期的にInstagramにて、活動報告をしています。また、ご利用時には個々にその日の活動内容を写真を送付してお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報保護の重要性を職員全体で共有し、管理方法や取扱い手順を明確に定めています。書類・データともに適切な管理を行い、外部への漏えい防止に十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	障害特性や発達段階に応じたわかりやすい説明や視覚的支援を行い、子どもおよび保護者と円滑な意思疎通ができるように、努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	現時点では、事業所行事に地域住民を招待する取り組みは十分に実施できていませんが、地域の清掃活動を毎月行っており、近所の方と顔見知りにはなっています。	今後は地域行事への参加や交流の機会の創出など、地域に開かれた事業運営を検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルの策定をしています。災害や事故を、感染症発生を想定した、訓練も行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPの策定をしており、非常時の備蓄や必要な訓練も各委員会の実施時期を合わせて行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	新規ご利用の際には保護者に服用薬があるかの確認や、てんかんがあるお子さんに関しては、てんかんが起るときの詳しい状況などを聴いて、職員全員で、起った時の対処法など研修しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーのある子どもについては、医師の指示書を保護者を通じて提出してもらい、その内容に基づき、除去食や代替食の提供、誤食防止のための環境整備等を行い、適切に対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、必要な研修・訓練および安全管理体制を整備した上で、安全に配慮した支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画を策定し、その内容に基づく取組みを、契約時の説明や、連絡アプリを通じて家族へ周知しています。また、必要に応じて個別に説明や情報共有を行い、家族等との連携を図っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットが発生した際には報告・記録を行い、職員間で情報共有しています。事例については職員会議等で検討し、支援手順や環境面の改善、職員の意識向上を図ることで、再発防止に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか。	7	0	虐待防止に関して、職員には定期的に研修の機会を設け、虐待防止に関する知識や意識の向上を図っています。また、職員間で情報共有や振り返りを行い、不適切な対応が生じないよう体制を整えています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	当事業所では、環境調整や個別支援、職員による見守り体制の工夫等により、身体拘束に至らない支援を行っており、これまで身体拘束を実施した事例はありません。	今後、やむを得ず実施が必要となる場合には、組織的な判断のもと、子ども・保護者へ事前に十分な説明を行い、同意を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載する体制を整えています。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026年2月10日

事業所名：放課後等デイサービス 児童デイサービスのぞみ 対象人数（保護者）52人 回答者数 35人 回収 67.3%

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	31	1		3	子どもたちが安全で楽しく活動できる環境作りを目指しており、限られたスペースの中でも工夫を凝らしています。長期休みの際には、野外活動に出掛ける事によってより十分に体を動かしたり、気分転換ができるように努めていきたいと思っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	29	2		4	国や自治体の基準を守ると共に、お子さんの安全と成長を最優先に考えて職員配置を行っております。日々の療育状況を確認しながら、必要に応じて職員間での連携や役割分担を工夫し、安心してお過ごし頂ける環境作りを努めております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1		4	子どもたちが安心して過ごせるように活動ごとに場所や動線を明確にし、視覚的に理解しやすい配置や表示を行う事で、子どもたち自身が見通しを持って行動できるように配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	32			3	生活空間は、毎日の清掃や定期的な点検を通して、清潔で快適に過ごせる環境を維持するよう努めております。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1		1	お子さん一人ひとりの特性や発達のペースは異なるため、日々の関わりの中で丁寧に観察し、理解を深めながら支援を行っていきます。また、定期的な外部研修を受講して、職員全員に共有し、全員が専門知識を持って療育に携われるように努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1		1	職員全員で考えた、支援プログラムに沿って日々の療育や個別支援計画書作成を行っております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35				今後も、お子さん一人ひとりに合った個別支援計画書作成ができるように保護者と連携をとっていきたくと考えております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	2		2	今後も、お子さん一人ひとりに合った本人支援、家族支援、移行支援計画書を提供することができるよう作成していきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	3			今後も、お子さん一人ひとりに合った個別支援計画書に沿った支援ができるように職員間での話し合いの時間を持っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	1		1	職員全員で、プログラムの固定化がないように日々、色々なサイトにアンテナを立てています。プログラムを設定する場合は子どもたちの楽しそうに活動している姿を思い浮かべています。

	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	7	20	あまり必要と考えておりません 私を知る限りでは交流はなさそうだが、課外活動はよくやってくださっている	地域の公園や、近所で行われるイベント参加などで交流が持てるようにしています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1	1	1	送迎なので難しいかと思う	個別支援計画のアセスメントを行う際に計画書変更箇所があれば、保護者と一緒に考えて支援内容を作って参ります。説明は大きく変更がある際に行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	4	4	9	家族向けのプログラムはなさそう	事業所内でペアレントトレーニングができるように現在職員も研修を重ねております。ご家族様が参加できる外部の研修の案内が事業所に届いた場合は、HUGの共有情報欄にてお知らせするようにしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	32	3				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1		3	まだ通い出したところなので困ったことに寄り添っていただき、いつも感謝しております	定期的な面談の他に、子どもたちの様子が変わったことがある場合には電話や送迎時にお会いした際に情報共有し、子どもたちの健やかな成長を支援できるようにしております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	7	12	保護者や兄弟向けのイベントは、入所してからはないように思う	現在、父母会などの交流会は開催できておりません。タイミングをみて、イベントを企画していきたいと思っております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		4		ご家族からの相談があれば、可能な限りの対応をしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	2		1		お子さんの直近の様子や学校にお迎えに行った際に先生からの伝達事項などはもれなく、保護者にお伝えしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	2				保護者との連絡事項や、お子さんの活動記録等はHUGのアプリで共有しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33			2		個人情報に関しては紙ベースは鍵付きの書庫で保管、データベースはパスワード管理しており、個人情報は必要最低人数で閲覧して、情報を閲覧終了後は削除、または適切に廃棄しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	3		4	事故などのマニュアルについての説明はあったが、訓練等が行われているかわからない	年間スケジュールに則り、各担当者が研修を行い、その研修内容を毎月行っている会議の場で、全指導員に伝えて、必要な時期に訓練を行っております。

	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1		7	訓練については分からない	年間スケジュールに則り、各担当者が研修を行い、その研修内容を毎月行っている会議の場で、全指導員に伝えて、必要な時期に訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	3		2		年間スケジュールに則り、各担当者が研修を行い、その研修内容を毎月行っている会議の場で、全指導員に伝えて、必要な時期に訓練を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2		4	事故が起こったことがない	療育中の怪我等などはその大小に関わらずに保護者に伝えています。伝えた後にヒヤリハット、事故報告書などの記入をして、今後同じことが起らないように事例反省を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	2		1		子どもたちが楽しかったと思ってもらえるようにプログラムなどを提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	1			いつもありがとうございます。週一日ですが、通所をとても楽しみにしています。これからもよろしくお願ひします！	今後も、ご利用頂いているすべてのお子さん、保護者に満足いただけるように、細やかな支援を心がけていきます。